

## R8 NEXT STEP 工房キックオフガイダンス

日時：令和8年5月12日（火）17:00～

場所：学生センターB棟 GB32

次第：

### 1. 各種ご案内

- ①盛岡市共創解決型事業「One+」（盛岡市共同研究員 千葉）
- ②滝沢ミライプロジェクト（株式会社イノベーションラボ岩手 小綿）
- ③5月14日(木)開催  
社会に届く、伝え方を学ぼう広報基礎講座&プレスリリース作成ワークショップ

### 2. 認定団体専用ポータルサイトおよびチャット（Teams）の試行運用開始

### 3. NEXT STEP 工房の概要・認定団体支援内容

※本資料は、岩手大学 NEXT STEP 工房 HP にも掲載しています

盛岡市×岩手大学

地域課題解決共創事業「One+」キックオフイベント

# 公務員トーク

Let's  
meet up!

5.13 水  
15:00-17:00



対象者 岩手大学生

講師

場所 TOVLAB

岩手大学 今井潤 教授

内容

- ・ 講演（15：00～15：20）  
「岩手大学地域協創教育センターの取り組みと盛岡市との連携について」
- ・ 事業説明、ワークショップ（15：20～16：20）  
「One+（ワンプラス）」事業説明  
ワークショップ「テーマ：地域課題の再発見と解決のヒント探し」
- ・ 懇談（16：20～17：00）  
フリートーク「テーマ：学生が盛岡市職員に聞きたいこと」



主催・お問い合わせ

岩手大学地域協創教育課

☎ 019-621-6633

✉ [kyoso@iwate-u.ac.jp](mailto:kyoso@iwate-u.ac.jp)

【申込フォーム】

<https://forms.gle/DGkLcY2vcGyqSNbT8>

お申込みは  
こちらから



締切 5.12 火

**盛岡市・岩手大学 地域課題解決共創事業**  
**『One+(ワンプラス)』募集要項**

**1 概要**

盛岡市と岩手大学は、地域課題に取り組む人材の育成を目的として、学生団体やプロジェクト（以下、「団体等」という。）の支援のため、地域課題解決共創事業『One+(ワンプラス)』を実施します。

この事業では、最大 20 万円の活動費支援を通じて、盛岡市の地域活性化や産業振興に貢献する団体等を支援します。

**2 申請要件**

次の要件を満たす団体等の申請を受け付けます。

- (1) 岩手大学に在籍する学生を主として構成する団体等であること
- (2) 取り組むテーマが盛岡市の地域活性化や産業振興に貢献するプロジェクトであること、  
または特定テーマに合致するプロジェクトであること

※テーマは「一般テーマ型（自由提案型）」と「特定テーマ型」のいずれかを選択すること

**【一般テーマ型（自由提案型）】**

テーマ	概 要
盛岡市の地域活性化や産業振興に貢献するプロジェクトの提案	学生の視点から自由に提案されたアイデアに基づいて、テーマに関する新たなプロジェクトを実施するもの

**【特定テーマ型】**

※各テーマの詳細は、別紙の特定テーマ申請書の内容をご参照ください。

	テーマ	市担当部局
①	「ガクチカ」は、まちで育つ。 ～まちで遊び、学び、つながる大学越境学生プラットフォームの試み～	総務部管財課 新市庁舎整備室
②	学生の視点で再発見！JR 山田線の魅力と可能性	建設部
③	みんなが支える公共交通 ～支える側に回って見た～	交通政策課
④	「映画の街盛岡」を盛り上げよう！	商工労働部
⑤	ゆかたで盛岡まちなかを遊び尽くそう！ ～回遊型ゆかたフェス拡張プロジェクト～	経済企画課
⑥	“行きたくなる手づくり村” SNS・デジタル戦略プロジェクト	商工労働部 ものづくり推進課

### 3 教職員等による活動支援について

活動の円滑な推進のため、岩手大学教職員、盛岡市職員及び盛岡市共同研究員が運営チームとしてサポートします。

また、必要に応じ、盛岡市が実施する各事業の概要や制度、関係施策等に関するセミナーやワークショップ等を実施します。

### 4 申請方法

**申請期限：5月29日（金）17時**

別紙申請書に必要事項を記入し、[kyoso@iwate-u.ac.jp](mailto:kyoso@iwate-u.ac.jp)へ提出してください。

申請に関して不明な点や相談がある場合、岩手大学地域協創教育課までご連絡ください。

また、申請の際は次の点に注意してください。

- ・ 支援対象期間は令和8年3月末までとする。
- ・ 申請金額の上限は20万円とする。
- ・ 活動計画に具体性があり、経費の使途が妥当であることを必須とする。

### 5 審査・採択

提出された申請書により審査（必要に応じてヒアリング）を行い、6月上旬に結果を申請団体等代表者のメールアドレスに通知します。

採択件数は予算の範囲内で採択するものとします。

採択された団体等には、活動費（上限20万円）を支援します。活動終了後に報告書（様式等は後日連絡）を提出いただきます。

### 6 採択後のスケジュール（予定）

実施時期		実施内容
R8	8月上旬	キックオフミーティング・活動開始
	11月	活動中間報告会
R9	2～3月	活動成果報告会

※ 上記の他、団体等と運営チームとで、活動の進捗状況確認や困り事への相談に関するミーティングを実施予定です。（月1回程度）

### 7 活動費

(1) 活動費による物品等購入の支払いは、岩手大学学務課地域協創教育課を通して行います。詳しくは採択後にお知らせします。

(2) 活動費は採択日以降に使用が可能となります。採択日前に購入したものについては、経費の対象となりませんので、ご注意願います。

- (3) 活動費は飲食、県外への旅費、単価が税込 10 万円以上の物品購入、物品等販売などの収益事業には使用できません。物品等販売などの収益事業を含む計画を申請しようとしている場合は、事前に事務局に相談してください。
- (4) 税込 10 万円以下でも、換金性の高い物品を購入する場合は、事前に事務局に相談してください（事業終了後に事務局に当該物品を返納いただく場合があります）。詳しくは採択後にお知らせします。

## 8 留意事項

- (1) 配分された予算を使い、学生のみで自家用車・レンタカーで移動することは禁止します。
- (2) 採択された団体等の岩手大学所属学生は学生教育研究災害傷害保険（学研災）、学研災付帯賠償責任保険（学研賠）等への加入を必須とします。他大学学生、地域住民は自己の責任で保険に加入した上で、事業に参加するようにしてください。

## 9 申請書提出先・問い合わせ先

岩手大学地域協創教育課 馬場

[kyoso@iwate-u.ac.jp](mailto:kyoso@iwate-u.ac.jp) 内線：6633

若者×滝沢×チャレンジ

2026

# 滝沢ミライプロジェクト

TAKIZAWA MIRAI PROJECT

プロジェクトの実施場所：滝沢市内で開催

どんなプロジェクト

滝沢ミライプロジェクトは、滝沢市を舞台に、「やってみたい」をカタチにする実践型プログラムです。地域のヒト・コト・モノを体験しながら、仲間とアイデアを磨き、プロジェクトとして挑戦します。最後には地域へ想いと成果を発表し、次の一歩につなげます。地域とつながり、自分らしく活躍する場を一緒につくりませんか？

## 対象者

学生なら  
誰でもOK



こんな人におすすめ

- ☑ 何か新しいことをやってみたい
- ☑ 友達やつながりを増やしたい
- ☑ 大学の外での活動もちょっと気になる

## プロジェクトを通じて得られるコト

### 一生モノの「ガクチカ」になる

ゼロから企画し実行する経験はどんなところでも語る確かな実績に！

### 仲間・大人と繋がる

学校の枠を越えて色んな人と出会う経験があなたの価値観を広げる！

### 君の未来につながる経験づくり

企画力、対話力、チームで取り組む力などは一生モノのチカラ！

### 「モヤモヤ」を言葉に

やりたいことが曖昧でも大丈夫。メンターが思考の言語化をサポート！

## スケジュール

詳細は裏面を確認！

プロジェクトは、以下の4つのフェーズを通して、あなたの「やってみたい」をカタチにしていきます。

5月～ 1DAYイベント複数回

7月～ 集中講座形式

### 1 まずはインプット 交流・滝沢体験

滝沢を巡るイベントへの参加や、仲間づくりを進めながら情報をインプット。アイデアの種を見つけ、地域の課題への理解を深めるフェーズ。

### 2 アイデアを形にする プロジェクトチームの 形成・企画化

志を共にするメンバーとチームを結成し、具体的なプロジェクトとして設計。

9月～ 自分のペースで活動

実践活動終了後！ 1DAYイベント

### 3 やってみる 実践・伴走支援

作成した計画をもとに、実際にアクションを起こすフェーズ。メンターが伴走し、挑戦をサポート！

### 4 挑戦を共有する チャレンジ発表

これまでの活動成果をプレゼンテーションし、経験を共有。次のチャレンジのきっかけづくりにも！

# Entry!

## エントリーはこちらから！

右記QRコードのフォームより必要事項を記入の上、エントリーください。



最初の交流  
イベントは  
5/20水

滝沢ミライ  
プロジェクトの  
情報はこちらから



# 「ミライプロジェクト」

## 「やってみたい気持ち」はちゃんとカタチに変えられる

滝沢ミライプロジェクトは、滝沢市をフィールドに、君の「やってみたい」という気持ちを、しっかりとカタチにしていく実践型のプログラム。滝沢のヒト・コト・モノをみんなで「体験」しながら、仲間と共にアイデアを練り上げ、プロジェクトとしてチャレンジしていく機会。

### このプロジェクトが君の変化の原動力になる理由

- 01 学校の授業だけでは得られない「実践的な学び」**  
ゼロから企画し、壁にぶつかりながらも実行していく経験は、君自身の確かな自信と実績、そして「ガクチカ」になる。
- 02 様々な価値観との出会い**  
想いを共有できる仲間や大人とつながる中で、自分の価値観や学びの視点がさらに広がる。
- 03 君の未来につながる経験づくり**  
自分だけではなく、地域の大人や仲間と協力して取り組む経験は一生モノ。誰かと一緒に取り組むチカラは、社会に出ても必ず役立つ。

### 迷っても止まっても大丈夫。私たちが隣にいる

新しいことに挑戦するときには不安はつきもの。そんな不安や迷いにもしっかりとサポート。君の挑戦がカタチになるように、一緒に伴走していきます。

#### 活動サポートと相談の窓口

日々のちょっとした悩みや進捗も気軽に共有。みんなの状況にあわせて、次に進むヒントを一緒に考えます。

#### 「モヤモヤ」を言葉に変えるパートナー

「やりたいことはあるけれど、うまく整理できない」という時こそ、私たちの出番。対話を通じて、君のアイデアをしっかりと具体化。

#### つながりの機会づくり

地域のヒト・モノ・コトを紹介し繋がるきっかけを提供。君の「やってみたい」フィールドを探そう。

#### チャレンジ発表「挑戦を共有する」

【活動例】  
・成功と「リアルな挑戦の体験」を発信  
・次なるの挑戦へのネットワーク作成

#### 実践・伴走支援「やってみる」

【活動例】  
・5W1Hレポート制作  
・プロトタイプ制作

#### チーム形成・企画化「アイデアを形にする」

【活動例】  
・チーム組成  
・課題解決ワークショップ  
・プロジェクト設計

#### 1 PHASE イベントの時期、滝沢を巡り、仲間づくりと、アイデアの種、課題の理解を進める

【活動例】  
・滝沢体験ツアー（農業体験、地域企業訪問）  
・地域フレイシャーとの対話  
・アイデアを育む

#### キックオフ



#### ● PHASE1 | 課題理解



#### ● PHASE2 | アイデア形成



#### ● PHASE3 | 実践・伴走



#### ● PHASE4 | チャレンジ発表



まずは参加申込み!



昨年度の様子

# あなたの挑戦を『社会のニュース』に変える方法



## 広報基礎講座&プレスリリース作成ワークショップ

SNSだけじゃない。自分の活動を、社会に届く言葉へ。

📅 5/14(木)

🎁 参加無料

📍 TOVLAB開催

【日時】 2026年5月14日(木)

第1部 16:00~17:00

第2部 18:30~20:00

【会場】 イーハートブ協創ラボ (TOVLAB)  
盛岡市上田二丁目18-34 中央食堂2階

【対象】 岩手大学の学生  
※TOVLAB利用者・利用事業者も参加可

【参加費】 無料  
※施設の利用登録が必要です

こんな人におすすめ



- ✓ 活動や研究をもっと多くの人に知ってほしい
- ✓ SNS以外の発信方法も学びたい
- ✓ 自分の挑戦や想いを、伝わる形にしたい

### 第1部 プレスリリースって何？ 広報基礎講座



- 広報の基本をやさしく学べる
- 自分たちの価値を言葉にするコツ
- ニュースの切り口の見つけ方



### 第2部 プレスリリースを 作成しよう！



- 見出し・本文・写真のポイント
- 9ブロックの型で実践
- 実際に作って持ち帰れる



講師



佐藤 知世(さとう ともよ)  
プレスリリースエバンジェリスト  
株式会社Relic 広報マネージャー/フリーランス広報コンサルタント。  
岩手県一戸町出身、岩手大学卒業。古着店やIT企業で広報を担当し、SNS運営、メディア対応、プレスリリース作成などを経験。現在は、企業や研究室の情報発信をサポートしている。



加星 宙磨(かほし おきまろ)  
プレスリリースエバンジェリスト  
株式会社プラスターHR 代表取締役。  
大阪の地元紙で18年半記者として活動し、これまでに約6,800本の記事を執筆。現在は、新聞記事の「わかりやすく伝える力」を活かし、プレスリリースの作り方や情報発信のコツを伝えている。

⇒ 申込はこちら ⇒



👉 申込はTOVLAB公式サイトから

## ポータルサイトとチャット（Teams）の運用開始について

### 令和8年度～ 認定団体支援ガイド：活動を支える2大ツールの使い方

認定団体の学生が、事務局への申請や相談をSharePointとTeamsでスムーズに行えるよう、ツールの役割と主要な手続きフローを周知する。

#### SharePoint：困った時の「情報の宝庫」

手引き、申請フォーム、プレスリリース様式などがすべて集約されています。

**TeamsにSharePointのURLをピン留め**  
迷ったらTeamsチャネル上部のタブからSharePointへ即アクセス可能です。

#### Microsoft Teams：連絡・申請の「総合窓口」

事務局への連絡や承認依頼は、各団体のチャネルで行います。

#### 迷わないための主要手続きフロー

旅費・謝金の申請：3ステップで完結

印刷依頼：1週間前までのルール

相談・予約：メール以外の選択肢

**部屋の貸出**  
希望者に編集権限を付与し、直接予約

**最新情報**  
メーリングリストSharePointにも同様の内容を掲載

**プレスリリース**  
SharePoint掲載基準と申請様式を確認して申請

計画書提出

事務局のチャット承認

終了後の報告書送付

SharePointでルールを確認し、1週間前までにTeams等で依頼します。

専用フォーム

TOVLAB対面相談（1～2ヶ月に1度）

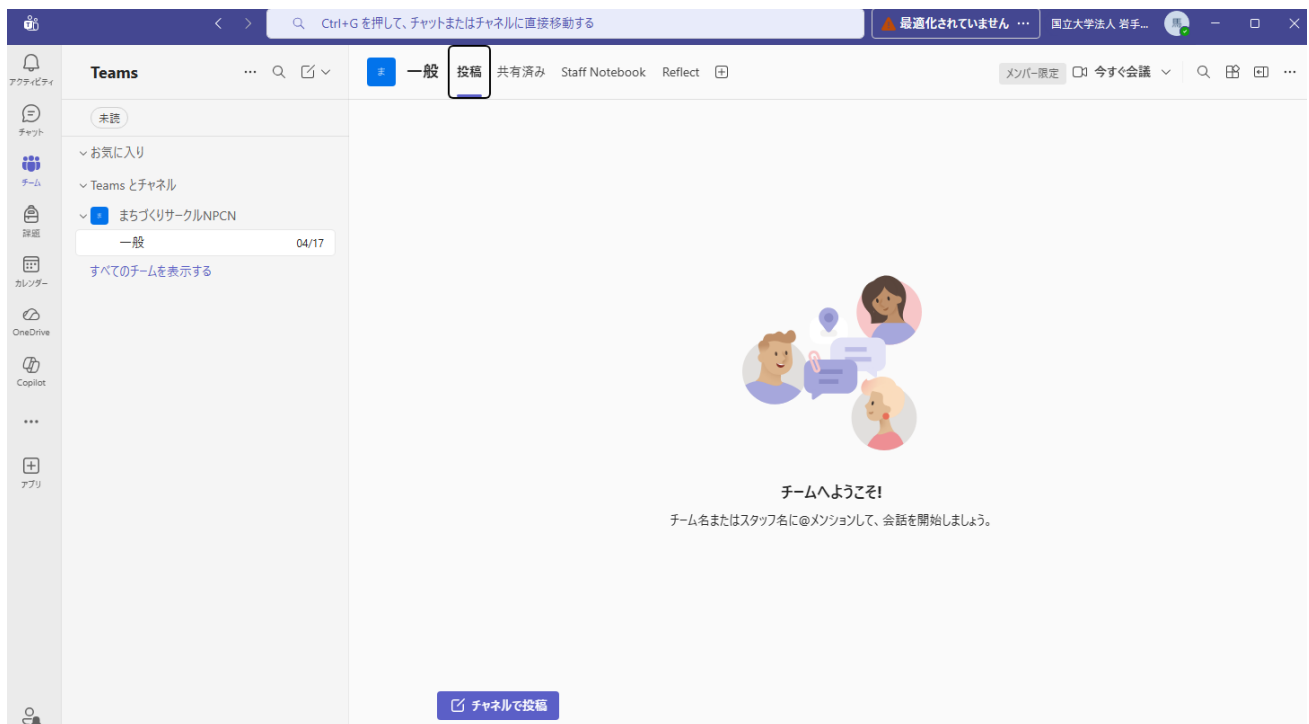
↓ポータルサイト画面（認定団体メーリングリスト参加者が閲覧可能）

The screenshot shows the 'NEXTSTEP工房認定団体ポータルサイト' interface. It includes a navigation bar, a '最新情報' (Latest News) section with a notice about the start of the 2026 fiscal year activities, a '各種申請（認定団体支援内容）' (Various Applications) section with icons for '物品購入・旅費・謝金の手続き' (Purchase, Travel, and Thank-you payment procedures), '印刷依頼の手続き' (Printing request procedure), '部屋貸出の手続き' (Room rental procedure), 'プレスリリースの手続き' (Press release procedure), and '活動の相談をしたとき' (When consulting about activities). There are also links for 'その他' (Others) and '各種SNS' (Various SNS) including Weibo, Facebook, and Instagram. Contact information for the '学生センター' and '地域協創教育センター' is provided at the bottom.

NEXT STEP 工房では、令和8年度から、Microsoft Teams を活用し、認定団体と NEXT STEP 工房運営チ

ームの連絡・情報共有を行います。

原則として、職員への連絡は Teams 上で行う運用とします。



### 1. チーム・チャンネルの構成

グループごとに1チャンネルを作成します

各チャンネルには、該当するグループの職員が参加します

※ グループごとのやり取りを集約し、情報の漏れ・見落としを防ぐことを目的としています。

### 2. 職員への連絡・情報共有・支援事業の申請等について

職員への連絡事項や共有事項は、原則として Teams（各グループのチャンネル）で行います

支援事業の申請方法は、別ページ（支援事業欄）をご確認ください。

個別チャットでの連絡は、必要最小限にとどめてください

### 3. 個別相談・共有できない内容について

以下のような内容については、Teams ではなく相談フォーム等をご利用ください。

#### 個人的な相談事項

グループ内での共有が適切でない内容

守秘性・配慮が必要な相談

※ 共有可能な内容は Teams、共有できない内容は相談フォームと使い分けることで、円滑で安心な運用を目指します。

#### 4. 運用の目的

本運用は、

連絡手段の一本化

情報共有の透明性向上

作業の増加・属人化の防止

を目的としています。

Teams と相談フォームを適切に使い分けながら、ご協力をお願いします。

# 学生の「やりたい」を地域へ。NEXT STEP工房



## NEXT STEP工房とは

- 地域と学生をつなぐプラットフォーム**  
 地域課題の解法や新たな価値創出に挑む学生団体・個人の活動を支援する拠点。
- 25以上の団体が多様に活動中**  
 農業、教育、まちづくり、商品開発など、学部の特長を超えた多彩なプロジェクトが進行。
- 自由な発想を社会の実践へ**  
 実際の事業計画作成や地域住民との交流を通じ、社会で活躍できる力を養います。

## 充実の支援内容

- 活動費と場所の提供**  
 プロジェクト運営のための活動費支援や、学内の打合せスペースを提供します。
- 専門的な伴走サポート**  
 地域とのマッチングやアドバイス、専門家（ベテラー）による伴走支援が受けられます。
- PR・交流の機会**  
 メンバー募集の場や報告会の開催、SNS等での発信により、活動の輪を広げます。

## NEXTSTEP工房 令和7年度認定団体一覧

※一部抜粋

<b>いわてI-sakeプロジェクト</b> 活動内容 ・オリジナル日本酒「Rondo Iwate」作り ・酒米作り ・ラベルコンペ Instagram 	<b>岩手大学 オリエンテーリング部</b> 活動内容 ・市内でのオリエンティング大会 企画 Instagram 	<b>岩手大学 クラフトビール部</b> 活動内容 ・ビール産地の形成に向けた支援活動 ・プロジェクトの広報PR ・商品企画 ・アプリ開発 Instagram 	<b>岩手大学経済研究室 まちづくり部</b> 活動内容 ・きたから朝市での企画準備、実施 ・カフェマップ(wiki)の配布方法検討 ・vol2作成に向けた調査 Instagram 	<b>岩手大学卓球部</b> 活動内容 ・卓球バレー指導者資格の取得 ・カマエツバwkiの配布方法検討 ・卓球バレーの普及イベント Instagram 	<b>岩手大学フレスコボール同好会 AMENINOMAKE'S</b> 活動内容 ・フレスコボールの普及活動 ・陸前高田市で行われる大会の補助 ・全国から高田へ訪れたフレスコボールへの防災発表 Instagram 
<b>岩手大学ボラセン 構想チーム</b> 活動内容 ・ボランティアセンターを仮立ち上げることが目標。 ・災害ボランティアの募集や学内団体のボランティア依頼を学生に提供する。 Instagram 	<b>岩手大学ローカル線 振興委員会</b> 活動内容 ・山田線沿線地域の住民が山田線に愛着を持ってもらう活動 ・山田線を活かしたイベント企画 ・魅力の発信 Instagram 	<b>岩手町農業探検隊</b> 活動内容 ・岩手町を実際に歩き観察るデータ調査を行い、岩手町の農業に関するヒースを収集する ・WSを開催する Instagram 	<b>同じ釜の匂いを食う 2025</b> 活動内容 ・“釜石はまゆりサクラマス”を用いたメニュー2種の開発 Instagram 	<b>工学GIRLS</b> 活動内容 ・サイエンスショー ・サイエンス教室（子ども対象） Instagram 	<b>国際協力ボランティアサークル</b> 活動内容 ・フィリピン貧困地域への寄付活動 ・難民映画の上映会 ・中央食堂や購買と共同してフェアトレード商品の普及活動(予定) Instagram 
<b>三陸委員会こころより</b> 活動内容 ・研修旅行で三陸の魅力を見出し、南青山での夏祭りや震災遺構イベントを運営 ・三陸地域の魅力発信イベントを行う。 Instagram 	<b>自然史探偵団</b> 活動内容 ・標本作成 ・博物館でのワークショップ facebook 	<b>たんぼぼ</b> 活動内容 ・子どもたちへ無料で「あそび・まなび・はなせる場所」を提供する。 ・学習支援事業の実施 Instagram 	<b>動物介在学研究室</b> 活動内容 ・チャグチャグ馬コに関わり、将来につなげる Instagram 	<b>はろっぷ</b> 活動内容 ・「社会人向けのサークル活動を支援・促進するアプリの開発」 Instagram 	<b>まちづくりサークル NPCN</b> 活動内容 ・「学生の力で盛岡をさらに盛り上げる!」をテーマに様々な活動を行う。 Instagram 
<b>むちよくと</b> 活動内容 ・食、異文化交流、教育などをテーマとしたオリジナルイベントの企画・運営及び商品開発。 ・メカク料理の販売やイベント開催の実施。 Instagram 	<b>MSC (Morioka Sound Connection)</b> 活動内容 ・盛岡市大通りでの演奏、パレード ・盛岡を活性づける活動を実施 Instagram 	<b>LiveStock研究会</b> 活動内容 ・ジャージー牛の肥育、と畜、加工、消費までを学生が亲身体験として学ぶ Instagram 	<b>陸前高田市訪問サークルNEO</b> 活動内容 ・陸前高田市への訪問、イベント実施 ・観光マップの作成 Instagram 	<b>NEXT STEP工房とは?</b> 地域に関わる活動の活性化を図るため、地域活動・研究を行う学生団体やプロジェクトを支援しているプラットフォーム。 ※今年度は25団体が所属 (9/1現在) 1 NEXT STEP工房の詳細はこちら 	

## 支援内容

### ・物品購入・旅費・謝金の手続き

※本支援は、活動費支援事業採択団体向けに行っているものです。

NEXT STEP 工房では、学生団体の活動に必要な物品購入・旅費・謝金 の支援申請を受け付けています。  
手続きの前に、まず「会計の手引き」 を必ずお読みください。

提出・連絡等はすべて Teams の団体チャットで行います。

※ 本ページでは手続き方法と様式をまとめています。

## 令和8年度版会計の手引き

### 20260401\_会計の手引き

#### 【1. 物品購入申請】

##### ◆ 手続き方法

##### ①計画書の提出

以下のテンプレートをコピーし、団体専用 Teams チャットに貼り付けて提出してください。

(納期をご確認ください)

##### ②承認・納品

承認連絡ののち、納品されましたら、チャットでご連絡します。

(地域協創教育課で受け渡し)

#### 提出テンプレ (コピペ用)

##### 【物品購入申請】

- 団体名：
- 申請者：
- 購入品名：
- 金額：
- 購入理由・目的：
- 購入 URL：

##### ◆ 注意事項

目的は具体的に書いてください

モノタロウ・アスクルを推奨します (URL を記載してください)

運営チームで購入が妥当でないと判断される場合は差戻しになります

#### 【2. 役務申請】

##### ◆ 手続き方法

##### ①申請の提出

以下のテンプレートをコピーし、団体専用 Teams チャットに貼り付けて提出してください。

※見積書も必要です。事前に業者に依頼内容を伝えて、見積書を徴取してください。

※バスの借上げの場合は、ご自身で任意の業者（岩手県北バス、岩手県交通）に仮予約のうえ、見積書を提出してください。

## ②承認・実施

承認連絡しますので、依頼先へ発注してください。

（地域協創教育課で受け渡し）

実施されましたら見積書・請求書・業務完了報告書（いずれも原本）を地域協創教育課へ提出してください。

## 提出テンプレ（コピペ用）

### 【役務申請】

- 団体名：
- 申請者：
- 活動名：
- 役務契約内容：  
（例：〇月〇日のイベントにおける貸切バス借上げ）
- 利用日（期間）：
- 利用場所：
- 利用人数（対象）：
- 業者名：
- 見積金額：
- 利用理由・必要性：
- 添付資料：見積書・行程表をチャットに添付してください

### ◆ 注意事項

- ・ 役務内容によっては、契約手続きが必要となり、時間がかかります
- ・ 日程が迫っている場合、対応できないことがあります

## 【3. 旅費（交通費）申請】

### ◆ 手続き方法

#### ①実施計画書の提出

以下の様式をダウンロードし、記入後、団体専用 Teams チャットにファイルを添付して提出してください。

## ②承認

地域協創教育課から承認連絡

### ③実施・実施報告書の提出

実施完了1週間以内に、以下の様式をダウンロードし、記入後、  
団体専用 Teams チャットにファイルを添付して提出してください

#### ◆ 提出時の注意

行程（出発・到着、交通手段）を明確に  
公共交通機関利用が基本

📄 様式ダウンロード

### 01\_【記載例】実施計画書（旅費）

### 02\_【記載例】実施報告書（旅費）

#### 📄 【4. 謝金申請】

#### ◆ 手続き方法

##### ①実施計画書の提出

以下の様式をダウンロードし、記入後、団体専用 Teams チャットにファイルを添付して提出してください。

##### ②承認

地域協創教育課から承認連絡

### ③実施・実施報告書の提出

実施完了1週間以内に、以下の様式をダウンロードし、記入後、団体専用 Teams チャットにファイルを添付して提出してください

#### ◆ 注意事項

実費ではなく 労務対価の扱いになるため、事情により支出できない場合もあります  
個人情報の扱いに注意


#### ・印刷依頼

NEXT STEP 工房では、学生団体の活動に必要なチラシ・資料等の印刷支援を行っています。

印刷機器の予約・調整が必要なため、用紙サイズ・部数によって提出期限が異なります。  
必ず以下の内容を確認のうえ、余裕をもって依頼してください。

印刷依頼はすべて Teams の団体専用チャットで行います。本ページは、依頼方法とルールをまとめた案

内ページです。


 【依頼期限（重要）】

A4・A3 サイズ／100 枚程度以内  
使用予定日の【3 日前まで】

上記以外（以下に該当する場合）  
使用予定日の【1 週間前まで】


◆ 提出方法

以下のテンプレートをコピーし、団体専用 Teams チャットに貼り付けて依頼してください。

 【印刷依頼テンプレート（コピペ用）】

【印刷依頼】

- 団体名：
- 担当者：
- 印刷物の名称：
- 用紙サイズ：(A4 / A3 など)
- 印刷部数：
- 両面・片面：
- 使用予定日：
- 利用目的：
- 添付ファイル：印刷用 PDF をチャットに添付

 【添付データについて】

PDF 形式で提出してください


文字切れ・余白・色味は事前に確認してください

Word / PowerPoint のままの提出は原則不可

修正が必要な場合は、職員から差戻します

品質を求める場合は印刷業者へ依頼してください

活動費支援事業で支出可能です（ラクスルや他業者）

 【注意事項】

締切直前の修正・差替えは対応できない場合があります

必要最低限の印刷にしてください（学内でも節約しています）

公序良俗に反する内容、営利目的等活動から逸脱している内容の印刷は不可

運営チームでの印刷が適切でないと判断される場合、依頼をお断りすることがあります

 【印刷物の受け取り】

印刷完了後、地域協創教育課での手渡しとなります（チャットで連絡します）

### ・部屋貸出（B棟306室・307室）

NEXT STEP 工房では、学生センターB棟3階の共通部屋（306室）を団体の打合せ等に利用することができます。

部屋の利用・予約にあたっては、専用のルールに基づき Google カレンダーで管理しています。

予約操作ができるのは、事前に権限付与を受けた団体担当者のみです。

本ページでは、利用方法・申請の流れ・注意事項をまとめています。

### 【利用の手引き（必読）】

まず、以下の PDF「利用の手引き」を必ず確認してください。

★学生センターB棟 3階部屋 予約ルール\_20250521

### 【利用できる部屋】

学生センターB棟 3階 306室

利用目的 原則：学内打合せ

打合せ以外で使用する場合は、事前に所管部署（地域協創教育課）へ相談が必要です

### 【予約できる人】

NEXT STEP 工房または学内カンパニーに登録している団体

予約権限を付与された団体担当者

1団体あたり最大2名まで

### 【予約方法（Google カレンダー運用）】

#### 基本ルール

Google カレンダーに直接書き込みして予約します

書き込み順が原則ですが、当事者間の調整は可能です

予定変更・キャンセル時は 速やかにカレンダーを更新してください

#### 予約可能期間

利用予定日の2か月前から予約可能

#### カレンダー記載事項

利用者団体名（略称可）

会議名

### 【利用時間・予約制約】

利用可能時間：8:00～20:00（開館日のみ）

1回の利用：最大2時間

同一団体：

1日最大2回（計4時間まで）

同一時間帯の連続日予約は不可

予約時間から30分経過しても利用がない場合はキャンセル扱い

※ 連続利用・長期利用が必要な場合は、必ず事前に相談してください

#### 【鍵の受け渡し】

☑ 9:00～17:00 利用の場合

所管部署（地域協創教育課）で鍵を受け取り

使用後すぐに返却

☑ 8:00 開始・17:00 以降終了の場合

事前連絡のうえ

学生センターB棟3階310前のキーボックスを使用

#### 【利用上の注意】

使用後は机・椅子の整頓、消灯、空調停止

ゴミは必ず持ち帰る

物品の放置は禁止

早く終了した場合は、カレンダーを更新すること

#### 【予約権限の付与について】

▶ 権限が必要な場合

Google カレンダーに書き込みができる権限がない場合は、

団体専用 Teams チャットで、以下の付与者に連絡してください。

予約権限付与者（2名程度・運用で指定）

地域協創教育課

▶ 連絡時の記載例

・団体名

・予約権限を付与したい担当者名（最大2名）


・大学メールアドレス



#### 【トラブル時の対応】

ダブルブッキング等の不具合が発生した場合

緊急利用が必要な場合

 速やかに所管部署へ連絡してください

## ・プレスリリースの手続き

NEXT STEP 工房では、学生団体の活動内容について大学として広く周知したい場合、プレスリリースによる情報発信を支援しています。

プレスリリースは、内容の公共性・社会的意義・取材対応の可否 等を踏まえて判断します。

依頼・提出はすべて Teams の団体専用チャットで行います。

本ページでは、依頼基準・提出方法・様式をまとめています。

### ☑【プレスリリースの対象となる基準】

以下の条件を 原則としてすべて満たす場合、  
プレスリリースの対象となります。

#### ◆ ① 広く周知したい内容があること

地域社会・企業・学外の人にも知ってもらいたい活動

学生の主体的な取組や成果が伝わる内容

大学として紹介する意義があるもの

#### ◆ ② 取材対応が可能であること

記者からの取材に 団体が直接対応可能 なこと

職員の立ち会いはありません

団体側で説明・受け答えができること

※ 上記条件を満たさない場合、

プレスリリースを見送ることがあります。

### 📄【提出様式】

以下の様式をダウンロードし、内容を記入してください。

プレスリリース様式（イベント通知）

### 📎【依頼方法】

#### ◆ 提出方法

記入済みの様式を、団体専用 Teams チャットに添付して依頼してください。

### 📄【チャット依頼時の記載例】

#### 【プレスリリース依頼】

- 団体名：
- 活動名：
- 公開希望時期：
- 備考（補足があれば）：
- 添付：プレスリリース依頼書

### 🕒【依頼時期の目安】

発信希望日の3週間までを目安に提出してください  
内容確認・調整が必要なため、直前の依頼には対応できません

#### ⚠️【注意事項】

プレスリリースは 大学名を用いた公式発信となります  
内容によっては、  
表現の修正  
掲載見送り  
となる場合があります  
記事掲載を保証するものではありません  
記者対応に関するトラブルには大学は関与しません

#### 🗉【やり取りについて】

提出後、職員が内容を確認し  
Teams チャットで修正依頼または可否を連絡します  
修正依頼があった場合は、  
修正後の様子を再度チャットに添付してください

#### ☎️【問い合わせ】

内容が基準に該当するか判断に迷う場合は、  
依頼前に相談することも可能です。

#### ・相談対応

NEXT STEP 工房では、学生団体の活動に関するさまざまな相談を受け付けています。

まだ構想段階の企画  
申請の仕方が分からない  
予算や進め方に不安がある  
地域・企業との連携について聞きたい  
どの支援メニューを使えばいいか迷っている  
「これって相談していいのかな？」という内容でも構いません。  
状況に応じて、相談しやすい方法を選んでください。

#### ✅【相談方法は4つあります】

① Teams チャットで相談する  
団体専用の Teams チャットで、そのまま相談してください  
申請前相談・軽い確認・修正のやり取りに向いています  
最もスムーズな方法です

「すぐ聞きたい」「やり取りしながら進めたい」場合はこちら

② 相談フォームから送る

内容を整理して相談したい場合におすすめ

担当者が内容を確認し、後日連絡します

匿名相談はできません（大学メールでの回答のため）

「文章でまとめて相談したい」「時間を気にせず送りたい」場合はこちら

↓フォーム

NEXT STEP 工房 | 相談フォーム - フォームに記入する

③ 直接来室して相談する

対面で話したい

企画内容を詳しく説明したい場合

📍 場所：学生センターB棟 1階地域協創教育課

🕒 開室時間：平日 9：00～12：00、13：00～17：00

※来室前に、Teams で一言連絡をもらえると助かります。